

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

柳町地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

①地域の高齢化に伴う様々な部分での課題の把握について

相談窓口として丁寧な対応を心がけ、しっかりと傾聴しニーズを適切に把握した上で必要なサービス機関へ繋げた。来訪できない方等に対しては訪問するなどし、状況把握を行った。適宜、協力医や行政と情報を共有し、より良い支援に繋げてきた。地域のボランティアやキャラバンメイトの方と連携して認知症サポーター養成講座を実施し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう理解者を地域に増やすことに繋げた。

②外部との交流困難な方への支援について

相談窓口としての周知を図る為、包括支援センターの案内や事業のチラシを積極的に配布した。また、自身で来所できない方や必要としている方については、訪問をすることで情報の把握をした。

③民生委員とのコミュニケーション（情報の共有）

地域ケア会議では、地域で抱える問題に繋がる個別課題を取り上げることで民生委員の他にもさまざまな支援者が集まり意見交換をする場ができ、ネットワークの強化に繋がった。会議後、担当地区の民生委員が訪問して下さるなど、支援の輪が広がった。

④貸館に関して

玄関に貸館空き状況を提示して予約前に空き状況を確認することができるようにし、団体交流会の時や貸館申込時に個別に夜間利用の説明をしたことで夜間の利用が増えてきた。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

建物の設備・維持管理等に関しては専門業者に委託し定期的な保守管理を実施した。

設備・維持管理（年1回）、定期清掃（年4回）、衛生管理（年2回）、消防設備等（年2回）

施設内清掃に関しては、専門業者に委託し清潔を維持してきた。

イ 効率的な運営への取組について

法人で運営するもう1か所の地域ケアプラザと連携し、サービスの質の向上を図った。

施設内で職員一人一人がコストを意識しながら節電対応、印刷時の効率、不要紙の再利用（メモ用紙）などに取り組んだ。

ウ 苦情受付体制について

施設内にご意見箱を設置し、遠慮なく意見が出せる工夫をしている。設置場所については、利用する方が投函しやすい場所に設置（玄関近く・デイルーム内）した。

特に意見等の投函はなかったが、苦情等があった場合は迅速に対応し、内容によって苦情解決第三者委員会へ報告し、適切な意見をいただきながら解決に繋がられる体制をとっている。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

特別避難場所・津波避難施設として、要援護者の為の備蓄品等の管理を定期的におこなった。防災・避難訓練は地域の消防署と連携しながら年2回実施した。

また、地域の津波避難高台への見学も実施した。

オ 事故防止への取組について

ヒヤリハットの報告を徹底し、内容については会議にて全職員と共有し、事故防止のための検討を重ねた。

運転者の免許証等更新については、各自コピーを提出してもらい更新期日など確認している。また運転業務のみの職員に対しても健康診断を実施し、体調面からも安全な運行ができるよう気を付けている。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

地域ケアプラザ個人情報漏えいチェックシートを非常勤を含めた全職員に実施した。個人情報に関する書類等は鍵のかかる書庫に保管し、ファックス使用時は個人情報部分へのマスキングに加え、送信時に必ず複数の職員で誤送信が無いように努めた。

キ 情報公開への取組について

法人のホームページを全体リニューアルし、新しい情報の発信を見やすく・検索しやすくした。

施設内の掲示物の整理整頓を行い、チラシも整理することで、探している人がわかりやすくなるよう心掛けた。

事業のチラシや地域での講座・研修会の案内は、地域の学校や町内会館へ持参し、配布を依頼することで幅広い周知に繋がった。

ク 人権啓発への取組について

法人全体として全職員を対象とした専門講師による研修を実施。やむを得ず参加できなかった職員に対しては、講師の了承のもと、録画したものを見ってもらう形で追加研修を実施し、全職員が参加できる工夫をした。

ケ 環境等への配慮及び取組について

施設内で出たゴミは分別。収集は専門業者に委託をした。施設内の植栽に関しては年2回、専門業者に依頼している。花壇はデイサービスの利用者の機能訓練の一環として季節を感じ、楽しみながら手入れをしている。

施設周辺のゴミ拾いなど毎日実施した。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

包括支援センター職員 3名（うち1名が管理者兼務）
介護支援専門員 非常勤1名

《目標》

- ご本人の意向を大切にしながら、住み慣れた地域でその人が望む暮らしができるよう、関係機関・地域の方と連携を取りながら支援を行った。
- ご自身でできることは続けていただきながら、その人の今までの生活歴を尊重し、要介護状態とならないために介護予防サービスを提供するよう努めた。
- 利用者ご本人のみならず、介護する方にも介護負担軽減となるような、介護者のつどいや講座などの情報提供や支援を行った。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 事業者の担当地域外を訪問する必要がある場合

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域活動交流部門と連携を取りながら自主事業への参加を勧めた。それ以外にもインフォーマルサービスや行政サービスの情報を提供することで、介護保険サービスに加えて見守りの目を増やせるよう心掛けた。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
121	125	123	118	115	116
10月	11月	12月	1月	2月	3月
115	121	121	123	120	120

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員	4名	
内訳	常勤	3名(うち1名は管理者兼務)
	非常勤	1名

《目標》

- 事業所内研修の充実を図り、アセスメント能力・コミュニケーション技術を向上させることで、より良いケアプラン作成に繋げることができた。
- 社協が行う権利擁護事業についての研修を行い、介護サービス以外の活動を知ることができた。
- 積極的に外部研修に参加し、他職種とのネットワーク構築を図った。

《実費負担》

- 無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- H28年より特定事業所加算を取得。毎週定期的に会議を開催し、お互いのケースについて共有を図り、担当ケアマネ不在時にもケースに対応することができるようにした。また、月に一回は持ち回りで事例検討を行い、支援困難な事例、うまくいった事例について検討。ケアマネジメントスキルの向上に努めた。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
98	90	98	93	90	93
10月	11月	12月	1月	2月	3月
93	94	99	93	93	92

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション
- 運動器機能向上
- 体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 704円
 - （要介護2） 831円
 - （要介護3） 963円
 - （要介護4） 1,095円
 - （要介護5） 1,227円
- 食費負担 700円
- 入浴 54円
- 個別機能訓練 60円
- サービス提供体制強化加算 20円
- 介護職員処遇改善加算 所定単位に4.0%を乗じた単位で算定

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
介護職員	10名
看護師	6名
運転手	5名

《目標》

- 利用者が充実した一日を過ごして頂けるよう、質の高いサービスを心がけた。
- 利用者各人の趣味や特技を生かし、楽しい一日を過ごして頂けるようサポートした。
- 自転車こぎや、平行棒、ボールなどを活用して運動機能の向上を図った。昼食献立は、イベント食として（お楽しみランチ）（郷土料理）を実施し、食事を楽しんで頂いた。
- 内部・外部研修を通して、職員のスキルアップを図った。（介護技術・感染症・認知症の研修）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 定期的（月に3日程度）に交流デッキの花壇を活用して、保育園児と一緒に花の苗を植えて保育園児との交流を図った。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
609	639	612	631	594	665
10月	11月	12月	1月	2月	3月
647	612	588	569	539	584

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション
- 運動器機能向上
- 体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 1,766円
 - （要支援2） 3,621円
- 食費負担 700円
- 運動器機能向上加算 242円
- サービス提供体制強化加算
 - （要支援1） 78円
 - （要支援2） 155円
- 介護職員処遇改善加算 所定単位4.0%を乗じた単位で算定

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
介護職員	10名
看護師	6名
運転手	5名

《目標》

- 利用者が充実した一日を過ごして頂けるよう、質の高いサービスを心がけた。
- 利用者各人の趣味や特技を生かし、楽しい一日を過ごして頂けるようサポートした。
- 自転車こぎや、平行棒、ボールなどを活用して運動機能の向上を図った。昼食献立はイベント食として（お楽しみランチ）（郷土料理）を実施し、食事を楽しんで頂いた。
- 内部・外部研修を通して、職員のスキルアップを図った。（介護技術・感染症・認知症の研修）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 定期的（月に3日程度）に交流デッキの花壇を活用して、保育園児と一緒に花の苗を植えて保育園児との交流を図った。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
100	104	99	100	83	96
10月	11月	12月	1月	2月	3月
100	95	81	91	86	97

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 体操
- レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 1. 072円
 - （要介護2） 1. 188円
 - （要介護3） 1. 305円
 - （要介護4） 1. 422円
 - （要介護5） 1. 539円
- 食費負担 700円
- 入浴 55円
- サービス提供体制強化加算 20円
- 介護職員処遇改善加算 所定単位に6.8%を乗じた単位で算定

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 3名（常勤2、非常勤1）
- 介護職員 8名（常勤兼務2、非常勤6）
- 看護師 5名（非常勤5）
- 運転手 4名（非常勤4）

《目標》

- 各個人に寄り添い、きめの細やかな対応を行った。
- 身体を動かす事で脳の活性化に繋げ、長く在宅で過ごして頂けるよう支援した。
- 会議でのケースカンファレンスにより情報を共有し、常に考え適切なケアをしていくよう努めた。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 季節を感じていただきながらの屋外での歩行訓練を行った。
- 家族会を年1回開催した。
- 季節ごとの創作活動により、手作業を行い、残存機能を維持できるよう支援した。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
246	250	231	219	222	201
10月	11月	12月	1月	2月	3月
216	202	204	186	197	219

● 認知症対応型介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 体操
- レクリエーション

《実費負担》

- 1割負担分
 - (要支援1) 927円
 - (要支援2) 1,036円
- 食費負担 700円
- 入浴 55円
- サービス提供体制強化加算 20円
- 介護職員処遇改善加算 所定単位に6.8%を乗じた単位で算定

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:40

《職員体制》

- 管理者 1名(常勤)
- 生活相談員 3名(常勤2、非常勤1)
- 介護職員 8名(常勤兼務2、非常勤6)
- 看護師 5名(非常勤5)
- 運転手 4名(非常勤4)

《目標》

- 各個人に寄り添い、きめの細やかな対応を心掛ける。
 - 身体を動かす事で脳の活性化に繋げ、長く在宅で過ごして頂けるよう支援する。
 - 会議でのケースカンファレンスにより情報を共有し、常に考え適切なケアをしていくように努める。
- 等の目標を掲げたが、要支援の方の利用はなかった。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

《利用者実績(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
4	0	0	0	0	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

地域の行事に参加する際に、広報紙や事業チラシを配布しながら包括・地域交流事業の説明を行った。自主事業を通し、参加者・ボランティア等の異世代の場ができた。また、高齢者の相談のみでなく、高齢者で障害を持った方や家族が障害者である場合などもあり、必要な制度に繋げたり、情報提供を行った。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携（生活支援体制整備事業も含む）

年度当初に、所長、地域活動交流 Co、包括職員、生活支援 Co にて連携会議を実施し、方向性を共有・確認した。地域活動交流 Co 協力のもと、地域の行事や会議に参加したり、包括職員と一緒に包括連絡会への参加や実際に見守り等の生活支援が必要な方への訪問同行を実施した

3 職員体制・育成

地域活動交流部門は、コーディネーター1名、サブコーディネーター5名を配置、包括支援センターは社会福祉士・看護師・プランナーを配置できた。主任ケアマネジャーは4月のみ配置できたが、以後補充ができなかった。次年度は整えていきたい。その他事業については、介護保険法等に従い適正に配置した。法人内研修への参加、外部研修・専門職研修等も研修内容によって常勤・非常勤問わず積極的に参加した。

4 地域福祉のネットワーク構築

地区社協と共催で、子育てイベントの実施、主任児童委員・区保健師との話し合いの場を複数回実施した。ヨコハマ市民まち普請事業を利用した、六浦東地区の「もりのお茶の間」立ち上げの会議等に参加するなど、様々な活動の手伝いをおこなった。支えあい連絡会を柳町CP単独開催とし、新たなネットワークを広げた。

5 区行政との協働

地域支援チームとして、地域の特性や課題に向き合いながら、行政と密に連携を取り、課題解決の方法を検討した。六浦東地区の「もりのお茶の間」立ち上げ会議等に積極的に参加し、ケアプラザとして可能な限りの支援をしてきた。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域の活動に参加する中で出張蕎麦の会の宣伝を行い、依頼があった町内で蕎麦の会を開催した。

H28年12月に法人ホームページがリニューアルされ、各事業所ごとに「お知らせ欄」が開設され、事業の募集や報告等の情報発信がより見やすくなった。

ケアプラザ利用者には貸館利用時に会話を心掛け、情報交換・収集を行いメンバー募集、活動披露等に繋げた。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

広報紙の団体紹介コーナーで、登録団体の活動内容の紹介、メンバー募集などを掲載した。

2階情報ラウンジの「団体メンバー募集」コーナーの整備を行い、見やすいコーナーを心掛けた。また、ケアプラザ内の活動に限らず、他の活動団体の募集チラシも依頼があれば掲示した。

デイサービス、自主事業等での団体の発表の場、自主事業のボランティア活動への調整を行い、自主事業のボランティア活動にも積極的に声をかけた。ボランティア感謝会ではいきいきポイントの説明を行い、いきいきポイントカードの取得を勧めた。

3 自主企画事業

地域の方のご要望から、自主事業「つるし雛作り」を開催し、とても好評であった。小学生向け、子育て世代向けの新事業は企画できなかったが、地区社協との共催で子育てイベントを開催した。次年度は小学生対象のお菓子作りの開催回数を増やしていく。

地域の夏祭り、避難訓練、芸能祭、社明大会、拠点作りの会議等に参加した。

出張蕎麦の会の回数、進め方、費用等について団体、職員と検討し次年度から採用していく。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

広報紙、事業チラシ、掲示板等でボランティア活動を呼びかけ、お茶会、子育て支援事業へボランティアの申し込みがあり、活動に繋げた。区内共催で大学生向けのボランティア講座を開催したが、活動の継続には至らなかった。学生ボランティアサークルへ働きかけていきたい。

六浦東地区「もりのお茶の間」の高齢者支援部会の研修を、金沢区社会福祉協議会と共催で行った。

ボランティア活動の相談には随時対応し、デイサービス、自主事業等に繋げた。

3月にボランティア交流会(感謝会)を開催した。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- 地域の高齢者の方々が、住み慣れた場所で望む生活を続けられるよう、様々な相談に応じ、必要な情報提供を行い、介護保険、医療、インフォーマルサービス等の支援に繋がった。相談から必要な支援への移行がスムーズにできるよう、ワンストップサービス窓口としての機能を果たせるよう努めた。
- 地域活動交流事業との連携を図り、機会をみつけて地域に赴き、地域の身近な相談窓口としての役割を伝えた。相談しやすい状況を作るために顔の見える関係づくりを積極的に行い、相談に繋がったケースもあった。
- 区や福祉保健関係者、関係機関と日頃から関係作りを行い、必要な情報共有を行いながら連携して包括的支援が行えるようにした。
- 直接的な支援につながらないケースについても見守り等のフォローを行い、状況確認を行った。

地域包括支援ネットワークの構築

- 多職種で検討することで多様な視点からの検討を行い、問題解決に向けて取り組むよう努めた。
- 地域ケア会議を通して多職種が共通認識を持てるよう準備を進めた。多職種協働で個別ケース課題の検討を実施し、個別課題から地域課題の発掘を行い、支援体制の構築を図った。今年度は個別ケース会議を3回、包括レベル地域ケア会議を1回実施した。個別ケース検討会議ではリハビリ専門職も参加して行き、生活課題の見直しを行った。今まで実施した地域ケア会議の課題整理ができていないため、次年度の課題とする。
- 日頃から関係機関と連携を図る中で関係づくりを行い、協力体制の構築を図った。

実態把握

- 区の高齢支援担当と定例の連絡会を毎月実施し、地区の状況や相談ケースについて情報交換・情報共有を行った。こまめに連絡を取り合い、必要に応じて連携を取りながら対応を行った。
- 民生委員、自治会、老人会の方々との関係づくりに努め、地域の高齢者の情報を把握するよう努めた。その際地域包括支援センターの役割を周知し、相談しやすい状況作りを行った。
- 地域の会合等に参加する中で、地域の方や高齢者の方から話を伺い、ニーズや課題の把握に努め、地域の方が気になる高齢者の把握・介入を行った。

2 権利擁護

権利擁護

- 自己決定に基づく契約が難しい方々、権利が侵害されていることに気づきにくい方々の権利を守るために、自己決定が本人の意志によるものかをきちんと見極め、権利が侵害されないよう適切に介入を行う様努めた。必要に応じてあんしんセンターや成年後見制度の支援に繋げるよう支援した。
- 成年後見ネットワークに参加し、他職種との連携・情報共有を図った。困難ケースについては専門家に相談し、連携を取りながら適切に支援できるよう努めた。
- 成年後見制度について、必要と思われる方には申し立ての情報提供や支援を行った。

成年後見講座を実施できなかったため、次年度は実施するようにしたい。

- 消費者被害についての被害状況を掲示物に載せることで周知を図った。地域ケア会議では警察からの被害状況メールをまとめた資料を配布し、地域の方に被害状況の情報提供を行った。被害の報告を受けた際は、状況に応じて警察・消費者センターへの報告を行い、区内の社会福祉士部会で情報共有を行った。消費者被害に関する講座についても実施できなかったため、次年度の課題としたい。

高齢者虐待

- 日頃から区やサービス事業者、民生委員等関係機関との関係づくりを行い、情報交換の中で早期発見につながるよう努めた。問題が発見された際は、必要な情報収集に努め、区と連携を取りながら迅速な対応を心掛けた。
- 虐待されている自覚がなく、自ら助けを求めにくい高齢者の方々が安全に安心して生活することができるよう、区や関係機関と連携して対応を行った。
- 介護者が孤立した状態にならないよう介護者のつどいを毎月開催した。同じような境遇の方との話し合いを持つことや、必要な情報を得ることができるよう、情報提供や介護者の心身の負担軽減とリフレッシュを図り、必要に応じて個別にフォローするよう努めた。

認知症

- 地域の中で認知症を理解して支援する人々を増やし、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えるために、地域活動交流事業と共催で保育園園児、大学生、デイサービスの職員・利用者家族、地域の方に認知症サポーター養成講座を実施した。出張講座のチラシを作成し、近隣の事業所に配布を行う。
- はいかい高齢者 SOS ネットワークに参加し、関係機関との情報共有・関係づくりをした。また、必要と思われる方・将来的に必要と思われる方には情報提供を行い、登録に繋げた。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- 二次予防事業対象者にケアプラザの自主事業や介護予防普及啓発事業へのチラシの配布や参加の声かけを実施した。
- 定期的な連絡や訪問により身体状況・生活状況を把握するように努め、適宜地域のインフォーマルな資源の情報提供や利用を促した。
- 区から連絡のあった要介護認定非該当者に対して連絡をとり、現在の身体状況・生活状況の確認を行った。
- ケアプラザ自主事業「ちょこっと相談」時に、血圧・体重・体脂肪・握力等の計測を行い、参加者の経過を把握。健康面や介護の相談等あれば適宜指導した。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 包括主催の講座や、地域から依頼を受けて行う説明会等に積極的にかかわることで、地域との信頼関係の構築に努めた。
- 各自治体主催の集まりへ参加する中で、地域のニーズを把握し、それに沿った講座を開催した。

医療・介護の連携推進支援

- 区内の主任ケアマネ部会、三師会と連携した様々な研修等に参加した。
- 医療機関で開催される研修に参加し、医療・介護の情報を把握し、知識の拡大を図った。
- 訪問診療を実施している医療機関や訪問服薬指導を行っている薬局との連携を図り、連携して支援を行った。
- 利用者を介しての担当者会議などにも可能な限り参加することで、医療や介護との密接な連携が図れるよう努めた。

ケアマネジャー支援

- 経験の浅いケアマネジャーが相談しやすい関係づくりを行い、必要時には同行による支援を実施した。
- 経験に関わらず、困難ケースなどについては個別検討を行い、課題の整理・解決に向けた支援を行った。必要に応じて同行訪問やサービス担当者会議に同席することで状況の把握に努め、必要な機関・支援に繋げた。
- 地域のケアマネジャーを対象に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の研修を行い、ケアマネジャーのスキルアップを図った。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- 包括で実施する研修会を通して、情報について共有化をはかり、地域に活かせるネットワークの構築に努めた。
- 地域ケア会議などを利用して、行政・民生委員・医療機関・サービス事業所とのネットワーク構築を図り、多職種協働に繋げた。今まで積み重ねてきた課題の整理を次年度行っていきたい。

介護予防事業

介護予防事業

□介護予防把握事業

地域診断の実施（柳町地域包括支援センター圏域）

診断結果から見えてきた健康課題や地域の現状や課題を把握して、次年度の目標や計画につなげた。

□介護予防普及啓発事業（ロコモティブシンドローム予防のための運動講座、口腔講座、栄養講座、認知症講座）を実施した（7月柳町町内会館 11月睦町内会館、12月柳町地域ケアプラザ 2月瀬戸町内会館）。地域の高齢者が町内会館や身近な場所で介護予防に参加出来るように努めた。

□介護予防啓発、相談

1月レイディアントシティーフレンドリークラブ交流会で、介護予防のお話しや体操、介護相談を実施した。

□地域介護予防活動支援事業

・金沢区高齢障害支援課主催の金沢区認知症予防講座（コグニサイズ）の開催後、柳町エリア内に「元気づくりステーション自主グループの開設に向けて、人材発掘、募集活動を実施した。

・認知症予防自主グループ「柳町 IN コグニ」の継続的活動が出来るように、区の保健師と協力して月2回の活動の支援を行った。地域に認知症予防の自主グループがあることを、介護予防講座開催時に周知した。

・認知症予防自主グループ「柳ウォーキング」の交流会活動（4月、6月、9月、12月、3月）をケアプラザで実施した。グループメンバーと話し合い、地域の方を対象に「3B体操」の講座を7月26日に開催した。

□地域リハビリテーション活動支援事業

地域ケア会議へのリハビリテーション専門職の派遣を依頼して、6月17日に地域ケア会議を開催。個別ケースの地域ケア会議に作業療法士が参加して、リハビリの視点を参加者全員で共有し、介護予防ケアマネジメント力の向上を図った。

生活支援体制整備事業

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

- 担当エリアを巡回することにより、地域の地形や各家屋の物理的状況、商店や病院からの距離、バスなどの移動手段の現状を把握し、生活ニーズが出てきそうなエリアの想定を行った。
- 巡回で得られた情報をデータ化し、デジタルマッピング加工の下準備を行った。
- 活動団体（6か所）を訪問し、情報収集を行った。
- 生活支援サービスの一覧表を作成し、提供できる体制作りを行った。

圏域レベルの協議帯の設置・開催

- 地域ケア会議に参加することを通して、住民同士のつながり構築の必要性、実現への検討を通して、地域住民・専門職が集う協議体として活用できるか準備作業を行った。協議体の設置には至らなかったが、課題解決にふさわしいメンバー構成の検討を行い、資源創出の足掛とした。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

- 相談ケースの主訴を抽出する中で、ニーズに対して不足しているサービスの検討を行い、現存しているサービスと合わせたサービス提供者別の一覧表を作成した。
- 地区推進連絡会、地域ケア会議、区と包括の定例会、地域支援チーム会議、支え合い連絡会に参加し、地域の現状や課題の把握を行った。

具体的な取組事項への着手

- 年度初めに、所長、地域活動交流 Co、包括職員、生活支援 Co にて連携会議を実施。その後は区との定例会にて情報交換・共有を行った。次年度は内部での会議を定期的実施し、更に情報共有を図りたい。
- 地域で実施する地域活動交流の事業や行事・会議に参加したり、包括職員と同行訪問することで、生活支援が必要な方の実態把握に努めた。

その他

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市柳町地域ケア

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護	認知症対応型 予防通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援						
収入	指定管理料等収入	16,771	17,076	147	2,394	0	0	0	0	0	5,789
	介護保険収入	0	0	0	0	16,658	77,670	6,092	37,686	31	0
	その他	473	14	0	1,734	685	1,465	0	293	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	1,734	0	0	0	0	0	0
	利息	0	0	0	0	685	0	0	0	0	0
	雑収入	473	14	0	0	0	1,233	0	216	0	0
	収入合計(A)	17,244	17,090	147	4,128	17,343	79,135	6,092	37,979	31	5,789
支出	人件費	12,057	16,225	0	1,418	20,024	64,346	0	29,121	0	6,468
	事務費	1,030	1,333	0	127	901	4,589	0	1,183	0	
	事業費	854	135	135	21	0	12,610	0	4,200	0	16
	管理費	2,969	789	0	91	158	9,268	0	3,088	0	
	その他	965	210	0	1,734	0	607	0	293	0	0
	施設使用料相当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	1,734	0	0	0	0	0	0
	消費税	965	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	協力医	0	210	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他支出	0	0	0	0	0	607	0	293	0	0
支出合計(B)	17,875	18,692	135	3,391	21,083	91,420	0	37,885	0	6,484	
収支 (A) - (B)	-631	-1,602	12	737	-3,740	-12,285	6,092	94	31	-695	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
会話カフェ	<p>(目的) 高齢者の居場所づくりと見守りを目的としたお茶のみサロン。参加者と会話を楽しむことにより引きこもり防止を図った。</p> <p>(内容) 毎月15日、13:00～15:00に開催。参加費100円(お菓子代として) 毎回13:30頃より催し物。ケアプラザ事業の紹介、ちょこっと情報等。 事前予約なし</p>	毎月15日 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あかちゃんといっしょ	<p>(目的) 1歳前後の子供と親を対象にした子育て講座。養育者(主に母親)同士の繋がり作りを行った。</p> <p>(内容) 10:00～11:00講座 偶数月はどんぐりころちゃんの読み聞かせ。 その後14:00までフリースペースとして開放 材料費等発生する場合は有料 偶数月は六浦地区、奇数月は六浦東地区保健活動推進員へ見守りを依頼した。</p>	毎月第三金曜日 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お食事会 ほっとすぺーす	<p>(目的) 高齢者の食を通じた健康作り、つながり作りのためにNPO法人ワーカーズ・コレクティブ・コンパスと共催で食事会を開催した。</p> <p>(内容) 参加費600円(食事代として)、定員25名。 食後13:45から約30分間の催し物の時間あり。 ケアプラザからのお知らせ等。</p>	毎月第一木曜日 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラワー アレンジメント	<p>(目的) 地域の高齢者を対象に心身機能の回復と花と触れ合うことでのリラクゼーション効果、またケアプラザが地域との接点、交流の場になることを目的として開催した。</p> <p>(内容) 参加費1000円～1500円(材料費として) 準備片付けなど参加者の方に協力してもらい、アレンジ終了後は写真撮影や交流の時間を設定した。</p>	毎月第一火曜日 12回開催 祝日、12月等は日程を変更した。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障害児者余暇支援 おひさま広場	<p>(目的) 家庭と学校、施設、作業所以外に地域での活動の機会が少ない障がいのある方を対象に余暇支援と社会参加の機会を提供した。</p> <p>(内容) 参加費200円(その時の材料代として) 4月～9月までは工作 11月～3月まで3B体操 学校、家族以外の大人(ケアプラザ登録団体メンバー、ボランティア)と交流した。</p>	毎月第二火曜日 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとランチ	<p>(目的) 高齢者に限らず地域の様々な世代の方にもケアプラザに足を運んでいただくための食事会。登録団体の方に配膳等をお願いし、ボランティアのきっかけ作りをした。出張蕎麦の会としてエリア内の町内会館へそば打ち団体と伺った。</p> <p>(内容) 6月高谷町内会でそば、8月ケアプラザで自彊術さんによるカレーパーティ、10月柳町町内会でそば、3月いけ麺クラブさんのラーメン</p>	町内会3回 ケアプラザ2回 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講演会	<p>(目的) 景翠会 金沢病院医師を講師として呼びし、地域住民に正しい医療情報を発信、提供し病気の早期発見と予防につなげることを目的とし開催した。</p> <p>(内容) 1回目: 高血圧 2回目: 腰痛、膝痛リハビリ体操</p>	7月、3月に開催 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体交流会	<p>(目的) 柳町地域ケアプラザ利用団体の交流、懇談会として開催した。</p> <p>(内容) 貸館清掃後に団体紹介、利用団体同士の情報交換と貸館ルールなどを再確認していただくことでケアプラザへの理解を深めていただいた。</p>	5月 計1回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
てくてく かなざわ	<p>(目的) 地域の方を対象に、(主に高齢者)手軽に始められるウォーキング。自分たちの街を再確認し、仲間と交流する機会とした。</p> <p>(内容) 金澤シティガイド協会へ講師を依頼。 解散後希望者で昼食を摂り交流を深めた。 ・6月シーパラダイスであじさい鑑賞 ・10月横浜市立大学の施設見学と学食</p>	6月、10月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
木工クラフト	<p>(目的) 異世代交流と小学生の地域の活動の場として開催。</p> <p>(内容) 竹細工と木工クラフトの講習会 参加費無料 乳幼児の場合は保護者が付き添えば参加可能とした。</p>	7月、8月に各1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レゴパーク	<p>(目的) 小学生対象。家庭とは違う広い場所でレゴブロックを使って遊んでもらうために開催した。</p> <p>(内容) ボランティアルームを開放。乳幼児は保護者の見守りがあれば参加可能とした。</p>	夏休み期間休館日を除く毎週月曜日、カレーパーティ、子育てイベント、ケムケム座公演開催時 合計9回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
輪飾りづくり	<p>(目的) お正月の輪飾りづくりを体験しながら地域住民同士の交流を図っていただくために開催した。</p> <p>(内容) 街の先生に講師を依頼。 参加費1000円(材料費として)</p>	12月開催

平成28年度 自主事業報告書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生対象 お菓子作り	<p>(目的) 小学生対象のお菓子作り体験。ケアプラザに来るきっかけ作りとして開催した。</p> <p>(内容) 12月クリスマスカップケーキ作り 2月バレンタインチョコチップクッキー作り それぞれラッピングして持ち帰りにし、その場ではケーキ、パフェなどを作りおやつとして食べた。 参加費300円(材料費)</p>	12月、2月 各1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーフレンド	<p>(目的) 障害のある小中学生の夏休みの活動の場、ボランティアと障害児の交流の場として開催した。</p> <p>(内容) 昼食作り(焼きそば)とレクリエーション 3B体操。</p>	8月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 感謝会	<p>(目的) ケアプラザでボランティア活動をしてくださっている方へ感謝の気持ちを込めてお茶会を開催。 ボランティア同士の情報交換とボランティア紹介</p> <p>(内容) 自己紹介、柳町地域ケアプラザのボランティア活動紹介、いきいきポイントカードの説明、会食(手作りカレー、サラダ)とコーヒー</p>	3月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て フリースペース	<p>(目的) 乳幼児とその保護者を対象とした居場所作りと保護者同士のコミュニケーションの場として開催した。</p> <p>(内容) ボランティアルームにマットを敷き、ソフトブロックを提供。</p>	毎月第四金曜日 年12回開催

平成28年度 自主事業報告書

横浜市柳町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
車椅子貸し出し	地域で車いすを必要としている方への貸し出しを行う。 期間は基本2週間。次の申し込みが入っていなければ延長も可能。 自走式2台、介助式2台。	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケムケム座公演	(目的) 過去に自主事業、区主催の子育て支援に来館していた参加者に再びケアプラザへ来館してもらう機会として地域で活動しているお芝居の団体に公演を依頼した。 (内容) 7月 『3匹のこぶたのほんとうの話』 12月 『ともだちほしいな おおかみくん』 対象 小学生、未就園児 定員 50名 参加費 無料	7月、12月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てイベント	(目的) 過去にケアプラザの事業、区の子育て支援に参加していた方に再びケアプラザへ遊びに来ていただくきっかけとして六浦地区社協(ハイハイクラブ)との共催。 (内容) ケムケム座さん公演「大きなカブ」 津軽三味線鑑賞、歌。 過去の事業参加者へお誘いハガキを発送した。 レゴパークを同時開催した。	3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つるし雛づくり	(目的) 毎年、講師と生徒さんの作品をケアプラザエントランスに展示しているが、地域の方から講座を開催してほしいとのご要望が多くあり、数年ぶりに開催。 (内容) 定員12名 1500円 2回講座でふくろう、座布団、唐子人形、紙ふうせん、いちご、巾着袋を作成する。	2月 計2回

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
会話カフェ	高齢者	61,155	39,855	21,300	0	54,155	7,000
	312名						
	100円						
あかちゃんといっしょ	乳幼児と養育者	39,711	36,011	3,700	24,498	12,213	3,000
	163名						
	その月による						
お食事会 ほっとすペース	高齢者	252,144	72,144	180,000	0	212,236	68,908
	404名						
	600円						
フラワーアレンジメント	高齢者	217,434	27,134	190,300	0	217,434	0
	150名						
	1000~1500円						
おひさま広場	障害児・者	58,447	50,447	8,000	46,772	11,675	0
	71名						
	200円						
ほっとランチ	地域の方	74,109	53,609	20,500	0	74,109	0
	198名						
	300円						
医療講演会	地域の方	0	0	0	0	0	0
	24名						
	無料						
団体交流会	登録団体	5,962	5,962	0	0	5,962	0
	19名						
	無料						
てくてくかなざわ	地域の方	14,321	14,321	0	12,500	377	1,444
	29名						
	無料						
木エクラフト	小学生・乳幼児	6,710	6,710	0	0	710	6,000
	40名						
	無料						
レゴパーク	小学生・乳幼児	0	0	0	0	0	0
	39名						
	無料						
輪飾り作り	地域の方	17,705	2,705	15,000	0	17,705	0
	16名						
	1000円						
小学生 お菓子作り	小学生	11,497	6,697	4,800	0	11,497	0
	18名						
	300円						
サマーフレンド	障害児	7,528	5,028	2,500	0	7,528	0
	17名						
	500円						

平成28年度 自主事業収支報告書

ボランティア感謝会	登録ボランティア						
	5名	7,716	7,716	0	0	7,716	0
子育てフリースペース	乳幼児と養育者						
	24名 無料	0	0	0	0	0	0
車イス貸し出し	地域の方						
	無料	0	0	0	0	0	0
ケムケム座公演	乳幼児・小学生						
	96名 無料	15,724	15,724	0	11,136	11,136	0
子育てイベント	乳幼児						
	86名 無料	9,374	9,374	0	5,568	3,806	0
つるし雛作り	地域の方						
	35名 1500円	20,154	2,154	18,000	0	20,154	0
		819,691	355,591	464,100	100,474	668,413	86,352

業ごとに別紙に記載してください。